

ポリプロピレン製造技術(ホライゾン)に関する IRPC Public Company Limited (IRPC)  
とのライセンス契約締結について

日本ポリプロ株式会社

日本ポリプロ株式会社(本社:東京都港区、社長:水野 愛司、以下「日本ポリプロ」)は、この度、タイの総合石油化学会社である IRPC Public Company Limited (以下「IRPC」、詳細は別紙の通り)と、日本ポリプロのポリプロピレン製造技術であるホライゾンプロセス(以下「ホライゾン」)及びインラインコンパウンド製造技術(以下「インラインコンパウンド」)をIRPCにライセンスすることについて合意いたしました。今回ライセンスするホライゾン及びインラインコンパウンドは、IRPCが、石油精製から下流の石油化学品生産まで統合的に取り扱うラヨーン県の石油化学コンプレックス内に新設する年産10万トンのポリプロピレン製造設備に採用される予定です。

ホライゾンは、特にインパクトコポリマー(耐衝撃性共重合ポリプロピレン)の製造において、製品中にゴム成分を多量に含む高性能リアクターTPO(熱可塑性ポリオレフィンエラストマー)の安定生産を可能にする技術です。ホライゾンを用いた当社製品である“ニューコン™”は、バンパーやインスツルメントパネルなどの自動車向けポリプロピレンコンパウンド製品の原料として最適な製品であり、そのためホライゾンは多数のプラントに採用されています。

一方、インラインコンパウンドは、ポリプロピレン重合設備に直結したコンパウンド製造設備においてコンパウンド製品を製造する事ができるという技術です。この技術を導入することにより、従来のアウトラインコンパウンド製造設備での製造に比べ、ポリプロピレンコンパウンド製品を高効率且つ低コストで製造することが可能となります。

このたび日本ポリプロは、ホライゾンとインラインコンパウンドというこの最も競争力のある技術の組み合わせをパッケージにして、IRPCにライセンスすることとしました。当該技術パッケージの他社へのライセンスは初めてとなりますが、日本ポリプロは既にこの技術を用いてポリプロピレンコンパウンド製品を製造し、複数の日系自動車メーカーにご愛顧いただく等多数の実績を有しております。また、今回IRPCが新設予定のプラントは、生産能力年産10万トンと自動車向けの中ではロットサイズの大きいグレードを生産するために、最適な生産規模であると考えています。

現在、日本ポリプロは、タイにおいてグループ会社のマイテックスポリマーズタイランドを通じコンパウンド製品を製造・販売していますが、今後は、IRPCとの協力関係を構築し、新設プラントで製造されるロットサイズの大きいグレード品を引き取る等により、自動車向け市場の成長が著しいタイをはじめとした東南アジアにおいて、供給体制の更なる拡充を図ってまいります。

以上

## 参考資料

### 1、IRPC Public Company Limited 概要

- ①本社 : バンコク市
- ②規模 : 現ポリプロピレン生産能力 47.5万トン/年
- ③生産拠点 : ラヨン県

- 2、ライセンスの範囲 : ①プロセスデザインパッケージ等のドキュメント提供  
②能力、品質、原単位等の性能保証、  
③特許保証

以上